学校通信
平成２７年５月２２日
第３号
発　行
校長　林田靖也

感動

体育大会　生徒の頑張り

林田靖也校長

５月17日(日)に、予定より一日遅れて平成27年度の体育大会を実施しました。前日からの雨で、グラウンドコンディションが心配でしたが、当日早朝から、職員で準備をしていましたところ、早く来た生徒たちが次々に準備に参加してくれました。また、テント張りやテントの杭打ちなど、保護者の皆様も率先して手伝っていただき、定刻に開催することができました。たいへんありがたく思っているところです。

体育大会は、堂々とした気迫のこもった入場行進で始まり、大会スローガンでもあります『挑戦』「燃え上がれ、心の灯火、きらめく汗と輝く涙』をそれぞれの種目で行動で表現してくれました。見ている方々にさわやかな感動を与えた体育大会であったと思います。

特に、男子団体競技「チョモランマ」では、勝った白団の生徒が全員、紅団の生徒を「頑張れ」と応援している姿が素晴らしかったと思います。勝ち負けを超えた南小国中の仲間意識と言いますか、相手を思いやる姿に感動いたしました。

以前、無名の佐賀北高校野球部が、夏の甲子園大会で優勝しました。その時、対戦した相手チームはすべて佐賀北高校を応援していったそうです。そこには、対戦したチーム一試合一試合、試合終了後、相手チームの選手に声をかけ、相手チームの素晴らしいプレーを讃え、感謝の気持ちを表していったそうです。

どこか、相通じるものを感じました。

さて、あと一ヶ月後には、郡市中体連がありますが、この精神を忘れず、大会に臨んでいってほしいと思います。

【頑張れ南中生徒】

一年生より二年生へ向けて

白団佐藤隆稀君

体育大会お疲れ様でした。先輩たちの競技に全力で取り組む姿がかっこよかったです。

僕は特に、応援団の演舞に感動しました。団結力では絶対勝ったと思います。

最高の体育大会でした。

白団高本琴美

南中最後の体育大会お疲れ様でした。結果は負けてしまったけど、みんなで力を合わせてがんばれました。

先輩たちの汗と涙は、今までがんばってきたからあるものだと思います。

みんなを引っ張ってくれてありがとうございました。私たちも来年、がんばっていきたいと思います。

紅団山内夏代さん

体育大会お疲れ様でした。先輩方のいろんな競技に全力で取り組む姿がかっこよかったです。

私たちは、そんな先輩方と優勝できて嬉しかったです。

一年生より二年生へ向けて

紅団齊藤康寛君

応援団では負けてしまったけど、とても楽しかったです。

応援している姿、負けても最後まで全力で走っている姿、どの姿もとてもかっこよかったです。

紅団麻生浩太郎君

先輩方が、１年生を引っ張ったり、３年生をサポートしていただいたおかげで優勝することができたと思います。

来年は、先輩方のようにしたいと思います。

白団佐藤真愛君

リレーや１００ｍ走で差を付けられてもあきらめずにゴールをめざしているところがとてもすごいなと思いました。

チョモランマでしろ団が早く終わった時は、紅団の応援をしているところがすごいと思いました。来年も頑張りましょう。

紅団麻生歩乃花さん

私は、先輩方がチョモランマや徒競走で大きな声を出して応援をしたり、１年生をまとめたりしていたのがすごいなあと思いました。

私も来年そうなれるようにがんばりたいです。

白団小関良々さん

先輩は、３年生の先輩がいない時、応援席での応援で、１年生を引っ張ってくださいました。率先して声を出し、１年生のお手本となりました。

私たちも来年、先輩方のようになれるよう頑張りたいと思います。お世話になりました。

三年生より一年生へ向けて

紅団荒川恭子さん

１年生は初めてのことばかりで、戸惑うこともあったと思います。応援団は一週間しか練習する時間がなかったけれど、私たちの言うことをちゃんと聞いてしっかり覚えてくれました。本当に嬉しかったです。他のみんなも一生懸命応援し、大声を出している姿に頼もしさを感じました。みんなのおかげで、体育大会を成功させることができました。本当にありがとうございました。

白団大塚亮君

今年の体育大会は、練習日数が少なく、雨が降る中での活動になったりとなかなか思い通りにいかない練習の日があったりしたけど、１回１回の練習を大切にし、一生懸命取り組んでいたところがすごいなと思いました。本番では、１年生一人一人が自分の役割をこなし、声をしっかり出していたり、３年生にとってはとても力になりました。

本当にありがとうございました。

編集後記

それぞれの学年の取組を尊敬と感謝の念で綴られたコメント、南中魂を感じさせるコメントばかりでした。

この体育大会の成果を日常生活につなげて欲しいと願っています。

さて、昨日、蒔いた種子が大きく成長し、鉢上げを２年生の生徒、きよら学級の生徒、それと職員で行いました。全部で３０ケース以上ありました。早く大きくなれと願っています。次は、いよいよ花壇へ植える段階です。南中の花壇が種子から育てた花でいっぱいになるのを楽しみにしている毎日です。